

こんなことやっています。こんなところががんばっています。

地域おこし協力隊通信

ワクチン接種のネット予約 方法の手引書をデザイン

協力隊・江副佑輔の
デザイン活動報告！

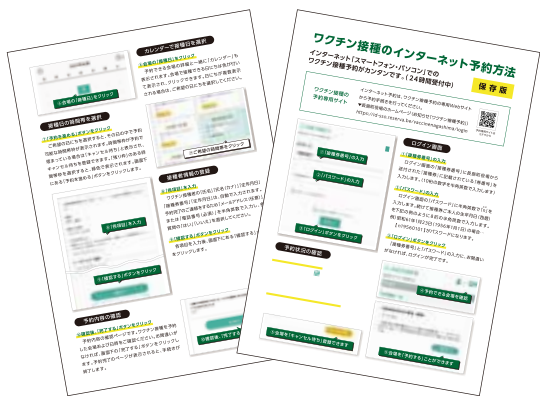
5月から開始された新型コロナウイルスワクチン接種ですが、役場では接種予約がスムーズにいかない現状をお聞きました。

電話予約が殺到したことで、役場の電話回線対応での限界を知り、24時間予約受付が可能なインターネット予約を町民の皆さんに利用してもらう

紙1枚でネット予約の方法が伝わるように、分かりやすい言葉やレイアウトを意識し、10の手順でネット予約ができる内容に情報を整理しました。

経費削減や印刷物の仕上がりをも高めるため、印刷を外注する印刷会社を選定。見積もりから折り加工の指定など、業務負担を軽減する提案も行いました。

今後の64歳以下のワクチン接種券には、今回デザインした手引書が同封され、町民の皆さんの手に届きます。インターネットが使えないかたは家族や周囲の知り合いのかたの協力のもと、できるだけネットでワクチン接種予約をお願いします。



協力隊の活動と町の 魅力をラジオで発信

4月24日、協力隊の長谷川一総さんと新見春奈さんがMBC南日本放送のラジオ番組「二見いすずの土曜ラジオ！」に出演し、協力隊の活動や町の魅力を発信しました。

番組内コーナー「週末解放区」に出演した2人は、協力隊に就任した令和2年8月から現在までの活動を報告。長谷川さんは町の獣害対策に向けての取り組みを、新見さんは会員制交流サイト（SNS）を活用した町の発信を、町の魅力とともに話しました。

長谷川さんは「公共の場で活動を伝えることの重みを実感しました。今後より一層、活動を頑張ります」と、番組出演を機にさらなる精進を誓いました。

新見さんは「ラジオに出演することで、SNSでは届かない層のかたにも、町の魅力をアピールできるのだと実感しました」と話し、これからの活動では「町で暮らす人々のインタビュー記事連載する取り組みをしたい」と決意表明しました。

ラジオ出演後、町内のかたからは活動への意気込みを新たに、今後も町に貢献していきます。

生放送の出演でも丁寧な言葉で活動を伝えた2人

